

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 3 月 31 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法根根拠. Includes details for '桜川市工業会運営支援事業' and '商工業の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (概要) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (業務内容). Includes details about the Sakai City Industrial Association and its activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for '桜川市工業会会員企業' and various performance indicators over time.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (costs) for 27, 28, 29, 30, and 31 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 事業費計 (A), and 人件費.

Table for '事業費の内訳' (Breakdown of operating costs) comparing 28年度実績 (Actual 28) and 29年度事業費予算 (29 Budget). Includes a '合計' (Total) row.

(4) 当該年度の実施内容

Table for '当該年度の実施内容' (Implementation content for the current year) for 29, 30, and 31 fiscal years. Includes a list of activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	桜川市工業会運営支援事業	事務事業No.	50201000527	所属課	商工観光課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 桜川市工業会はつくば真壁工業団地に誘致された新規企業と既存の市内操業企業との交流を図る目的で旧真壁町主導で平成元年に設立された。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・平成22年度の補助金検討委員会の答申として、平成24年度の助成を以て当該補助金を廃止すべきという意見のため、廃止になった。 ・会員企業からは補助金の復活の要望がある。また、補助金が廃止になっても、事務局は市でやってもらいたいとの要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 工業会の活動は福利厚生などもあり、桜川市内立地企業懇談会や商工会工業部会と異なるため、現在のような事業が継続できなくなる。 また、事務局の業務についても会員企業の負担が大きくなるため、事業の継続が難しくなる。 解決策としては、工業会の要望に配慮した形で他団体との統合を行うことだが、現会員からは統合に対する反対意見がある。	
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市工業会は、市内の工業者が互いに情報交換、親睦・融和を深めることを目的として活動している。市の工業振興施策として、工業系事業所の組織化や異業種交流などの活動支援があり、当該事業は政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	活動目的は営利ではなく、市内工業系事業所の交流による地域経済の活性化やPR活動であり、市が何らかの助成することは妥当である。事務局については、他団体と同様に市職員ではなく、本来は会員企業で行うべきであり、見直しの余地がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	工業会の活動は年々縮小傾向にある。原因としては景気の悪化等による会員企業の倒産、撤退などで会員数が減少していること、それに伴う会費収入の減少がある。また、同様の理由により、工業会の事業に人員を出すことが難しい企業がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市内工業系事業所の交流の場が減少するという意味では影響はあるが、会員企業は真壁地区の12社のみであり、影響はごく限定的である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	具体的な手段、事務事業名 桜川市内立地企業懇談会
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費はない。 人件費については、年間の業務時間が多いため、今後事務局を会員企業に持ってもらえば人件費の削減余地はある。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	桜川市工業会は市内の工業系事業所ならば入ることができ、会費を徴収しており、費用負担は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	会員数が年々減少しているが、活動は積極的に行っている。ただし補助金の削減や会費収入の減少により、今後事業の継続が難しくなってくる。今後は桜川市立地企業懇談会との統合や工業会事業の廃止も視野に入れていく必要がある。限られた会員のために職員が多大な業務時間を費やして携わることの公平性には疑問が残る。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 工業会の活動は福利厚生などもあり、桜川市内立地企業懇談会や商工会工業部会と異なるため、現在のような事業が継続できなくなる。事務局の業務についても会員企業の負担が大きくなるため、事業の継続が難しくなる。解決策としては、工業会の要望に配慮した形で他団体との統合を行うことだが、現会員からは統合に対する反対意見がある。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×	×	低下	×	×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○	×	×																				
	低下	×	×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>